

共通戦略 1	革新的な経営戦略に踏み込んだ支援の推進
--------	---------------------

施策 1	新しいチャレンジを支える実効性の高い個社支援の推進
------	---------------------------

1 令和6年度 施策の方向性
人口減少による地域内需要の衰退に加え、原材料価格の高騰や物価高、賃上げによる経営コストの増加など経営環境は大きく変化している。この環境変化を乗り越え、事業者が成長し続けるための支援として地域外への販路開拓や新事業展開など新しいチャレンジを推進する。

2 事業概要 ※ () は活動目標値

<p>(1) 革新的取組支援強化事業</p> <p>各種補助金の活用を提案し、経営計画の策定から実行、融資斡旋、フォローアップまでチーム体制で支援を行った。</p> <p>■活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巡回等を通じた各種補助金の活用提案 ・伴走型支援事業と連携した補助金申請支援 <p>■達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・革新的取組実行件数 : 4件 (5件) ・(市) 稼げる力創出補助金 : 4件 ・国・県・市補助金の申請件数 : 19件 (25件) ・(国) 小規模事業者持続化補助金 : 1件 (5件) ・(国) 省力化投資補助金 : 0件 (5件) ・(県) 商業・サービス産業経営革新事業費補助金 : 2件 ・(市) 稼げる力創出補助金等 : 7件 ・(市) 創業支援補助金 : 9件
<p>(2) ICT導入支援強化事業</p> <p>事業者の経営課題である生産性向上や人手不足解消、販路拡大等について、ICT導入によって解決を支援した。</p> <p>■活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT導入に活用できる補助金等支援策の提案 ・グーペ (ホームページ) の導入推進及び導入支援 <p>■達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グーペ (ホームページ) 新規導入件数 : 8件 (5件) ・キャッシュレス (タイムズペイ等) 導入件数 : 1件 (3件)
<p>(3) 販促プロモーション支援強化事業</p> <p>地域外への資金流出が見られる小売業や飲食・サービス業等に対して、地域内外からの誘客に向けたプロモーション強化支援を行った。</p> <p>■活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販促プロモーションセミナー (SNS活用) 実施による販路拡大支援 ・専門家派遣等活用による商品・サービス提供や宣伝活動等への助言 ・来店促進イベント「ステキなお店&特産品めぐりスタンプラリー第2弾」の実施 <p>■達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販促プロモーションセミナー/販路開拓セミナーの開催 : 3回 (2回) ・専門家派遣等活用による販促課題解決 : 7件 (5件) ・来店促進イベント (スタンプラリー) への参加店舗 : 55店舗 (30店舗) ▽参加者 : 317名 (内、82名が市外参加者) ▽店舗利用 : 延べ970来店 ▽潟上市認証特産品購入回数 : 219回

施策目標	実績値 (目標値)				
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
-(1) 経営革新等取組実行事業者数	0社 (1社)	6社 (2社)	(2社)	(3社)	(3社)
(1) 革新的取組実行件数 <small>付加価値額伸び率3%以上かつ、総事業費100万円以上の補助金申請書、「戦略的経営支援計画書」を作成した事業者件数</small>			4件 (5件)	(5件)	(5件)
達成状況	未達成	達成	未達成		
-(2) 国・県補助金の申請件数					
(2) 国・県・市補助金の申請件数 <small>国・県・市の販路拡大、生産性向上、事業再構築、起業等に関する各種補助金の申請件数</small>	21件 (20件)	33件 (20件)	19件 (25件)	(25件)	(25件)
達成状況	達成	達成	未達成		

※施策目標 (1) は、全県共通目標に準じて修正することとした。(令和6年度より)
 ※施策目標 (2) は、市で新たな補助金の新設されたことから追加することとした。(令和5年度より)

4 施策目標に関する検証

<p>(1) 革新的取組実行件数</p> <p>《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・革新的取組支援強化事業 革新的取組のために専門家とのチーム支援により市稼げる力創出補助金等への申請支援を行い、計画策定から融資斡旋、事業実施のフォローアップまで一貫して支援を行えたこと。 <p>《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・革新的取組支援強化事業 革新的取組等のために補助金を検討したいといった相談を受けたものの、補助金公募期間と合致せず申請できないケースがあり、早期支援に着手できるよう掘り起こしができていなかったこと。
<p>(2) 国・県・市補助金の申請件数</p> <p>《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・革新的取組支援強化事業 創業や新たなチャレンジを検討している事業者に対して取組みに合致した補助金を提案し申請支援を行ったことで、顧客拡大・売上増加につなげることができたこと。 <p>《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT導入支援強化事業 ICT活用に関して活用施策等情報提供を行うも関心を得られず、相談自体が少なかったこと。

5 次年度への改善点

<p>(1) 革新的取組支援強化事業</p> <p>巡回先でのヒアリング等で革新的取組の掘り起こしを行い、補助金等を活用して効果的に実施できるように余裕をもったスケジュールで計画策定・実行支援を行う。</p>
<p>(2) ICT導入支援強化事業</p> <p>デジタル化・IT化の取組みへの意識向上を目的としたセミナーを実施する。導入支援の際は、県連合会の専門家派遣制度や中小機構のIT経営サポートセンターを活用し支援する。</p>

共通戦略1	革新的な経営戦略に踏み込んだ支援の推進
-------	---------------------

施策2	経営基盤の強化による持続的な経営の実現支援
-----	-----------------------

1 令和6年度 施策の方向性
頻発する自然災害や感染症、後継者の不在など経営を取り巻くリスクは数多く存在する。そのため、地域経済の根幹をなす商工業者が事業を継続していくため、自らの経営状況を把握し、事業リスクを軽減する取組を推進する。

2 事業概要 ※ () は活動目標値

<p>(1) 財務分析支援強化事業</p> <p>事業者の数値管理に対する意識向上のため経営状況の見える化による課題解決を支援した。</p> <p>■活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月例経営支援委員会議の開催 検討内容：モニタリングサービス（財務分析）提供状況等共有、記帳自計化に移行可能な事業所の検討等 ・モニタリングサービス提供による財務分析支援 <p>■達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記帳自計化に移行した件数 : 3件 (3件) ・クラウド会計システム(MA1)新規導入件数 : 8件 (5件) ・モニタリングサービス提供件数 : 188件 (182件)
<p>(2) 事業承継実現促進事業</p> <p>地域産業を支える事業者の円滑な事業承継実現のため、商工会ならではの事業承継支援を関係機関と連携を強化して、早期の計画策定及び実行を支援した。</p> <p>■活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋田県事業承継・引継ぎ支援センターや専門家と連携した承継支援 ・早期事業承継の提案と活用施策等情報提供 <p>■達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業承継を実現した件数 : 1件 (5件) ・事業承継診断シートによるヒアリング件数 : 43件 (40件) ・事業承継計画策定件数 : 5件 (5件)
<p>(3) リスクマネジメント力強化事業</p> <p>事業者を取り巻く災害・感染症等のリスクに対して理解を深め、持続的に事業を継続するため、事前対策を強化する取組を支援した。</p> <p>■活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業継続力強化計画・BCPの策定支援 ・巡回等を通じたリスク対策の周知 <p>■達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業継続力強化計画策定件数 : 5件 (5件) ・BCP（事業継続計画）策定件数 : 32件 (25件)
<p>(4) 経営基盤強化事業</p> <p>経営基盤の強化に必要となる新たな知識や技術の習得について、時勢を捉えたセミナーや商工会独自の助成金制度によって持続的な経営を支援した。</p> <p>■活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「インバウンド対策セミナー」「手書きPOP作成セミナー」「メンタルヘルスセミナー」「税務対策セミナー」開催 ・商工会独自の助成金「稼げる力応援助成金」の実施による活用提案及び申請支援 <p>■達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営基盤強化セミナーの開催 : 4回 (3回) ・「稼げる力応援助成金」の活用提案件数 : 12件 (15件)

施策目標	実績値 (目標値)				
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
(1) 記帳自計化に移行した件数 記帳代行から自計化に移行した事業者数	0件 (3件)	1件 (3件)	3件 (3件)	(5件)	(5件)
達成状況	未達成	未達成	達成		
(2) 事業承継を実現した件数 事業承継を実現した事業者数	1件 (5件)	5件 (5件)	1件 (5件)	(5件)	(5件)
達成状況	未達成	達成	未達成		
(3) 事業継続力強化計画策定件数 事業継続力強化計画の認定を受けた事業者数	2件 (5件)	4件 (5件)	(10件)	(10件)	(10件)
達成状況	未達成	未達成	5件 (5件)	(5件)	(5件)
達成状況	未達成	未達成	達成		

※施策目標(3)は、難易度及び過年度実績に基づいて下方修正することとした。(令和6年度より)

4 施策目標に関する検証

(1) 記帳自計化に移行した件数
<p>《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財務分析支援強化事業 モニタリングサービス提供により経営改善の意識向上及び記帳自計化への移行につながったこと。 <p>《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財務分析支援強化事業 将来的な記帳自計化へ移行を見据えた計画的な支援が不足していたこと。
(2) 事業承継を実現した件数
<p>《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業承継実現促進事業 事業承継診断シート等を活用し、事業承継を検討している事業者の掘り起こしができたこと。 <p>《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業承継実現促進事業 事業承継計画策定後のフォローアップが足りず、スムーズな事業承継につながっていないこと。
(3) 事業継続力強化計画策定件数
<p>《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リスクマネジメント力強化事業 防災・減災対策の必要性についての情報発信により、意識向上へつながり計画策定に至ったこと。 <p>《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リスクマネジメント力強化事業 事業継続力強化計画策定において申請内容に関する不備があり認定までに時間を要したこと。

5 次年度への改善点

(1) 財務分析支援強化事業
事業者自らが財務状況管理のうえ経営改善に努められるよう記帳自計化に向け計画的な支援を行う。
(2) 事業承継実現促進事業
事業承継計画策定支援先へは、関係機関と連携して実現のための伴走型支援を行う。
(3) リスクマネジメント力強化事業
計画策定においては、専門家派遣等を活用しながらチームで支援する。

共通戦略2	新たな可能性を切り拓く多様な連携の推進
-------	---------------------

施策3	事業者間連携による販売促進支援の強化
-----	--------------------

1 令和6年度 施策の方向性	
事業者にとって、限られた資源を有効活用し、相乗効果を高める連携は付加価値向上に取り組む有効な手段となる。そのため、産業間、商工会間、事業者間などの従来の枠組を超えた新たな連携を強力に推進し、事業者間の実情に応じた連携機会の創出を支援する。	

2 事業概要 ※ () は活動目標値

(1) 事業者間連携促進事業 事業者の強みを融合させた相乗効果による付加価値を生み出すため、事業者間連携事業を推進し、連携による新たなビジネスチャンスの創出を支援した。 ■活動内容 ・商工会ホームページ「お知らせ」への事業者間連携情報の掲示 ■達成状況 ・事業者間による連携事業実施数：0回（1回） ・連携事業情報の周知：3回（3回） ▽事業者間連携促進チラシの配布 ▽秋田県発行「ハウツーブック」の紹介 ▽ミラサポplusサイトより取組事例の紹介	
(2) 観光拠点連携強化事業 秋田駅前にて広域連携の販売会を実施することで、販売促進強化と域外からの資金獲得を支援した。また、展示商談会への出展支援を行うことで、出展事業者への販路開拓を支援した。 ■活動内容 ・販売会開催に向けた準備 ▽秋田駅前アゴラ広場での開催に係る情報収集、開催打合せ ▽県地域振興局による後援に伴う物品提供等に係る開催打合せ ▽物産等販売イベント出店事業者と商品取り扱い等の打合せ ▽目玉企画（ステージイベント、JAあきた湖東出店）に係る各団体・機関との打合せ ・展示商談会出展に向けた対策 ▽専門家派遣を活用した出展事業者への販路拡大・需要拡大指導 ■達成状況 ・販売会の開催：1回（1回） ・販売会へ参画した件数：20件（10件） ▽販売会「地元のイチ推し！秋空特産品マルシェ」 開催日：令和6年11月9日（土） 場所：秋田駅前アゴラ広場 来場者数：約3,000人 出店者売上：約67万円 ・事業者間交流機会の提供：2回（1回） ▽展示商談会「第36回グルメショー秋2024」にて情報交換会開催 ▽販売会「秋空特産品マルシェ」にて出店者による相互交流	

3 施策目標及び達成状況					
施策目標	実績値（目標値）				
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
(1) 事業者間による連携事業実施数 <small>事業者間の連携事業実施数 ※イベント等の共同開催は除外する。</small>	4回 (1回)	3回 (1回)	0回 (1回)	(1回)	(1回)
達成状況	達成	達成	未達成		
(2) 観光拠点主体の販売会へ参画した件数 <small>観光拠点を主体とした販売会に参画した事業者数</small>	7件 (5件)	8件 (5件)	20件 (10件)	(10件)	(15件)
達成状況	達成	達成	達成		

4 施策目標に関する検証

(1) 事業者間による連携事業実施数 ≪効果があった事業及びその内容≫ 何が良かったのか ・事業者間連携促進事業 事業者間連携による新商品開発を行った事業者へ、展示商談会への出展支援及び専門家派遣等の販路開拓支援を行ったこと。 ≪検討の余地がある事業及びその内容≫ 何が悪かったのか ・事業者間連携促進事業 情報発信は行ったものの、連携事業に取り組む企業の掘り起こしができなかったこと。	
(2) 観光拠点主体の販売会への参画事業者数 ≪効果があった事業及びその内容≫ 何が良かったのか ・観光拠点連携強化事業 販売会では、アゴラ広場を会場としたことで昨年度以上の出店規模・内容でマルシェを開催することができ、それにより多くの集客と出店事業者の販路拡大につなげることができたこと。 ≪検討の余地がある事業及びその内容≫ 何が悪かったのか ・観光拠点連携強化事業 販売会では、キッチンカー出店が多くなったことから会場設営に制限ができてしまい、結果、来場者の動線に偏りが生じたこと。	

5 次年度への改善点

(1) 事業者間連携促進事業 商工会報や商工会ホームページ等を活用した情報発信を行うとともに、巡回等を通じて事業者の強み・弱み、または経営課題を収集し、商工会が仲介役となって連携事業を提案する。
(2) 観光拠点連携強化事業 販売会にて、商品や技術の魅力を発信し、新規顧客獲得や当地域への観光客の誘客につなげる。

共通戦略2	新たな可能性を切り拓く多様な連携の推進
-------	---------------------

施策4	行政・関係機関との連携による課題解決支援の強化
-----	-------------------------

1 令和6年度 施策の方向性
事業者や地域が抱える課題は高度化・多様化しており、行政においても商工業振興に関する課題解決のため、様々な施策を展開している。そこで、行政や関係機関との連携強化により、事業者の持続的発展や地域課題解決を目指す。

2 事業概要 ※ () は活動目標値

<p>(1) 行政等連携促進事業 商工会、市町村、若者、移住者等が連携して取組む協議会に参画し、事業者の持続的発展や地域課題解決のための提案を行った。</p> <p>■活動内容 ・「明るい秋田」を創るためのアイデア企画や活動等協議 ■達成状況 ・市行政との連携事業の実施数：5回（5回） ▽商工会主催「定額減税説明会」 ▽商工会主催「インバウンド対策セミナー」 ▽商工会主催「かたがみ企業就職フェア2024」 ▽商工会主体「第36回グルメショー秋2024」 ▽市主体「ふるさと回帰フェア2024」 ・秋田の未来を創る協議会へ2回参画 ▽9/5 代表者会議 ▽2/20 3港連携部会・人材育成部会</p>
<p>(2) 小規模事業者振興施策要望実現促進事業 業種・業界で抱える高度な経営課題や地域の賑わい創出のための施策など、アンケート等により幅広く意見を集約し、行政に対して支援策を要望した。</p> <p>■活動内容 ・商工会員に対し「経営課題に関するアンケート」を実施し、経営状況・景況感の把握及び行政への要望について情報収集 ・上記アンケート集計結果及び職員からの支援施策要望の意見収集 ・市行政との情報交換 ■達成状況 ・アンケート調査・分析：1回（1回） ・支援施策の要望：23施策（20施策） ・行政への要望実現数：2件（2件） （実現した要望事項） ▽「物流事業者エネルギー価格高騰緊急支援金」創設 ▽「雇用促進支援補助金」創設</p>

3 施策目標及び達成状況					
施策目標	実績値（目標値）				
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
(1) 連携事業の実施数 <small>連携先（行政、近隣商工会、外部機関、県、大学等）との共同事業数</small>	3回 (3回)	3回 (3回)	5回 (5回)	(5回)	(7回)
達成状況	達成	達成	達成		
(2) 行政への要望実現数 <small>政官財との連携協議により提案された要望実現数</small>	未集計 (-)	4件 (2件)	2件 (2件)	(2件)	(2件)
達成状況	-	達成	達成		

4 施策目標に関する検証

<p>(1) 連携事業の実施数</p> <p>《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか</p> <p>・行政等連携促進事業 商工会が主催する多くの事業、セミナー等について、市行政の協力を得ながら開催することができたこと。</p> <p>《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか</p> <p>・行政等連携促進事業 事業者の持続的発展や課題解決に適した連携事業を多く提案することができなかったこと。</p>
<p>(2) 行政への要望実現数</p> <p>《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか</p> <p>・小規模事業者振興施策要望実現促進事業 物価・エネルギー価格高騰等の影響を受けて疲弊する事業者や稼げる企業を目指す事業者に対する支援策を多数要望することができたこと。</p> <p>《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか</p> <p>・小規模事業者振興施策要望実現促進事業 令和5年度要望数24施策に対し、実現は2施策だったこと。 （一部実現は6施策）</p>

5 次年度への改善点

<p>(1) 行政等連携促進事業 市行政に対して事業者の持続的発展や課題解決に適した連携事業を提案し、これを実施していく。</p> <p>(2) 小規模事業者振興施策要望実現促進事業 引き続き事業者の経営状況の把握に努め、要望書に反映し小規模事業者への支援拡充を目指す。</p>

共通戦略3	成果を創出し続ける組織・運営体制の構築
-------	---------------------

施策5	会員の満足度向上のための事務局体制の強化
-----	----------------------

1 令和6年度 施策の方向性
商工会では、限られた人材・時間・財源を有効に活用し、知恵を結集させたチーム支援や簡易業務の見直し・効率化など事務局体制を強化することで、事業者目線に立って困りごとに迅速かつ確実に対応しながら会員の満足度向上を実現する。

2 事業概要 ※ () は活動目標値

<p>(1) 業務改善推進事業</p> <p>これまでの事務局2拠点体制での事務作業・業務等を全面的に見直し、1拠点体制に適したスキーム等を取り入れることで業務改善に取り組んだ。</p> <p>■活動内容 ・業務内容の全面的見直し</p> <p>■達成状況 ・業務改善項目：5項目（5項目）</p> <p>①商工会費徴収方法の見直し（口座振替の導入）</p> <p>②情報発信方法の見直し（Eメールによる情報提供）</p> <p>③セミナー等参加申込み方法の見直し（二次元コードの活用）</p> <p>④記帳業務の効率化（MA1マナーリンクの活用）</p> <p>⑤貯蓄共済システム管理方法の見直し（全支援員による管理共有）</p>
<p>(2) 巡回強化事業</p> <p>旧広域指導センター閉所を受け、天王地区会員へ一層の配慮及びサービス低下防止に努めるため、特に巡回を通じて会員に寄り添った支援体制の強化に取り組んだ。</p> <p>■活動内容 ・天王地区会員を重点地区として一斉巡回</p> <p>・経営指導時における巡回強化（適宜）</p> <p>■達成状況 ・巡回による商工会サービスの紹介件数：天王地区を重点的に実施済</p> <p>・巡回による情報提供件数：3,008件（2,400件）</p>
<p>(3) チーム支援強化事業</p> <p>迅速で機動的な解決策を提案するため、職員個別での対応ではなく、商工会としてワンストップ体制を確立し、職員の得意分野や能力、経験に応じた適切なチーム支援の強化に取り組んだ。</p> <p>■活動内容 ・知識を結集させたチーム支援の実施</p> <p>■達成状況 ・チーム支援の実施：5回（5回）</p> <p>▽事業継続力強化計画策定支援</p>
<p>(4) 情報発信強化事業</p> <p>商工会に求めるニーズ調査で最も高い「情報提供」を、より迅速かつ効果的に実施するため、ホームページ（電子媒体）と商工会報（紙媒体）の両面を有効活用し、発信を強化した。</p> <p>■活動内容 ・ホームページ及び施策等の情報発信強化</p> <p>■達成状況 ・商工会報発行：3回（3回）</p> <p>・ホームページによる情報発信：87回（48回）</p>

施策目標	実績値（目標値）				
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
<p>(1) 事務局拠点数（拠点）</p> <p>組織財政委員会での協議の下、事務所一拠点化を見据える。</p>	2拠点 (2拠点)	2拠点 (2拠点)	1拠点 (2拠点)	(1拠点)	(1拠点)
達成状況	達成	達成	達成		
<p>(2) 巡回による情報提供数</p> <p>課題解決提案のための巡回件数</p>	2,416件 (2,400件)	2,403件 (2,400件)	3,008件 (2,400件)	(2,500件)	(2,500件)
達成状況	達成	達成	達成		

4 施策目標に関する検証

<p>(1) 事務局拠点数</p> <p>《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか</p> <p>・業務改善推進事業</p> <p>1拠点化時期を1年早めたことで業務改善にもいち早く取り組むことができ、職員の日常業務の負担軽減につなげることができたこと。</p> <p>《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか</p> <p>・業務改善推進事業</p> <p>より効果的な業務改善スキームの検討・実施に至らなかったこと。</p>
<p>(2) 巡回による情報提供数</p> <p>《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか</p> <p>・巡回強化事業</p> <p>天王地区を5ブロックに分けてチームで重点的に巡回したことで、個社の経営課題を抽出し、解決提案・実行支援につなげることができたこと。</p> <p>《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか</p> <p>・巡回強化事業</p> <p>画一的な情報提供が主であったため、個社の実状に適した情報が不足していたこと。</p>

5 次年度への改善点

<p>(1) 巡回強化事業</p> <p>経営課題を抽出するための傾聴スキルを磨き、話し方・伝え方を工夫することで、巡回を通じて多くの個社支援の開拓につなげていく。</p>
<p>(2) 業務改善推進事業</p> <p>各業務・事業について、改めて必要性和スキームの点検を実施する。</p>

独自戦略1	地域資源である食と観光の魅力に着眼した潟上経済活性
-------	---------------------------

施策7	“食”のブランディングによる魅力度向上支援の強化
-----	--------------------------

1 令和6年度 施策の方向性	
潟上市は、佃煮製造業や味噌・醤油等発酵食の醸造元など食料品製造業の集積地であり、加工及び発酵等の独自技術から多くの魅力ある商品が誕生している。このような地域資源や独自技術を駆使して開発・改良された魅力ある商品をブランディングし、潟上市認証特産品(以下、「認証特産品」という。)として発信することで市外への販路拡大を目指す。	

2 事業概要	
※ () は活動目標値	
(1) 認証特産品PR事業 商工会認証制度及び認証特産品の認知度向上のためPRを強化した。また、展示商談会出展等を支援し、販路拡大等認証メリットを提供した。 ■活動内容 ・認証特産品PR及び販売促進 ▽PRツール(リーフレット・バナー・動画)作成、展示商談会参加、セット商品考案・販売、特産品コンテスト出品、市内外3つのイベントでPR及び販売促進 ■達成状況 ・認証特産品新規認証数: 5個(3個) ▽児玉冷菓のパパヘラアイス アイシュー、とうがらしと秋田辛味噌だれ しまったげ 生姜ノガリっとにんにく(秋田フーディ(同))、バターどら焼き(酒田屋菓子店)、淡雪ふわり 炙り海老塩味(肴鼎家)、AKITA CRAFT GIN「岑」No.65(小玉醸造株) ・認証特産品PR: 8回(5回) ・認証特産品PRリーフレット作成・配布: 県内52箇所の主要観光施設へ設置済 ・展示商談会への出展支援件数: 4件(4件) ・buyer's roomへの出品件数: 4件(1件) ▽秋田フーディ(同): 児玉冷菓のパパヘラアイス アイシュー [審査員特別賞]、とうがらしと秋田辛味噌だれ しまったげ 生姜、とうがらしと秋田辛味噌だれ ガリっとにんにく[全国連賞]、比内地鶏スープ プレミアム[全国連賞]	
(2) 商品魅力度向上支援事業 専門家を活用し、商品パッケージ等のブラッシュアップに取り組んだことで、商品の魅力度を高め、販路拡大へとつなげた。 ■活動内容 ・専門家派遣による出展前後の販路拡大、需要拡大指導 ・展示商談会出展に伴う商品の説明資料、販促ツールの作成 ■達成状況 ・専門家派遣等活用による課題解決件数: 4件(4件)	
(3) ふるさと納税返礼制度活用事業 認証特産品をふるさと納税返礼品のレパトリーへ登録したことにより、行政と連携した市外への販路拡大を支援した。 ■活動内容 ・潟上市と連携した制度内容の情報提供と登録申請状況の共有 ■達成状況 ・ふるさと納税返戻制度への新規登録商品数: 4個(5個) ▽児玉冷菓のパパヘラアイス アイシュー、とうがらしと秋田辛味噌だれ しまったげ 生姜、とうがらしと秋田辛味噌だれ ガリっとにんにく(秋田フーディ(同))、Light Base とガラスキューブ(進藤電気設計) ・ふるさと納税返礼制度への登録事業所数: 2件(2件)	

3 施策目標及び達成状況					
施策目標	実績値(目標値)				
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
(1) 潟上市認証特産品新規認証数	27個 (10個)	4個 (10個)	(15個)	(15個)	(20個)
「商工会認証制度」によって認証を受けた商品数			5個 (3個)	(3個)	(3個)
達成状況	達成	未達成	達成		
(2) ふるさと納税返礼制度新規登録商品数	0個 (3個)	4個 (4個)	4個 (5個)	(6個)	(7個)
新規商品登録数					
達成状況	未達成	達成	未達成		

※施策目標(1)は、令和4、5年度で一定程度の商品を認証済のため下方修正することとした。(令和6年度より)

4 施策目標に関する検証	
(1) 潟上市認証特産品新規認証数 ≪効果があった事業及びその内容≫ 何が良かったのか ・認証特産品PR事業 認証特産品の認知度向上のため、作成したPRツールの活用や、特産品販売強化事業により、県内外に広く周知し、販路開拓や売上の増加につなげられたこと。 ≪検討の余地がある事業及びその内容≫ 何が悪かったのか ・商品魅力度向上支援事業 展示商談会での対バイヤーとの交渉術習得までには至らなかったこと。	
(2) ふるさと納税返礼制度新規登録商品数 ≪効果があった事業及びその内容≫ 何が良かったのか ・ふるさと納税返礼制度活用事業 潟上市と、ふるさと納税返礼品の登録状況や申請予定商品等について相互に情報共有したことで、新たに認証特産品の登録に至ったこと。 ≪検討の余地がある事業及びその内容≫ 何が悪かったのか ・ふるさと納税返礼制度活用事業 返礼品登録メリット及び申請基準等の制度情報について、認証事業者への周知が足りていなかったこと。	

5 次年度への改善点	
(1) 商品魅力度向上支援事業 展示商談会出展に向けて、課題を解決するための支援スケジュールを組んで対策を強化する。	
(2) ふるさと納税返礼制度活用事業 潟上市等との連携を強化しながら、認証特産品の販路拡大及び売上増加を支援する。	

独自戦略1 地域資源である食と観光の魅力に着眼した潟上経済活性化

施策8 潟上市の新たな観光スタイル「体験・滞在型観光」の促進

1 令和6年度 施策の方向性
 潟上市の新たな観光スタイルとして、佃煮・味噌・醤油の伝統的なものづくりや果樹もぎ取りなどを体験し、新たな価値を見出す「コト消費」を前面に打ち出した「体験・滞在型観光」を促進し、潟上経済の活性化を目指す。

2 事業概要 ※（ ）は活動目標値

- (1) **体験・滞在型観光整備事業**
 本会ホームページ内の観光情報ページに、体験メニューを有する事業者や内容、所要時間等のコンテンツ整備、受入れ側とのリンク貼りなどリニューアルを進めた。
 ■活動内容 ・観光情報ページのデザイン構成検討及びホームページに掲載する体験コンテンツ情報の収集
 ■達成状況 ・ホームページ内の体験コンテンツ情報整備：整備中
- (2) **体験・滞在型観光情報発信強化事業**
 観光情報ページにより食や体験型観光、関係機関を含むイベント情報など潟上の魅力を発信し、体験・滞在型観光を推進することで、観光客を誘客し地域内事業者の利益につなげた。
 ■活動内容 ・潟上市や本会会員からの観光・体験情報の収集、発信
 ■達成状況 ・観光情報ページの閲覧者数：4,683件(1,800件)
 ・ホームページによる体験・滞在型観光情報の発信：7回(5回)
- (3) **体験・滞在型観光PR事業**
 当地域での体験・滞在型観光をPRするため、それぞれのコンテンツを集約し、情報発信することで、観光客の増加を目指した。
 ■活動内容 ・PRツールの作成・設置、イベントでの配布
 ■達成状況 ・PRリーフレット作成・配布：県内52箇所の主要観光施設へ設置済
- (4) **体験・滞在型観光受入れ事業者支援事業**
 伝統産業や1次産業に新たに「コト消費」を充実させるため、“見る・学ぶ・体験する”を目的とした観光客受入れ事業者を支援した。
 ■活動内容 ・体験観光コンテンツ促進のための助成支援
 ■達成状況 ・体験型観光への参加者数：112人(40人)
 ・体験型観光受入企業への助成：1件(3件)

施策目標	実績値(目標値)				
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
(1) 観光情報ページの閲覧者数 <small>ホームページ内の観光ページの閲覧者をカウント</small>	1,788件 (500件)	2,044件 (600件)	(700件)	(800件)	(1,000件)
			4,683件 (1,800件)	(1,900件)	(2,000件)
達成状況	達成	達成	達成		
(2) 体験・滞在型観光への参加者数 <small>体験型観光に参加した人数</small>	— (—)	103人 (20人)	112人 (40人)	(60人)	(80人)
達成状況	—	達成	達成		

※施策目標(1)は、過年度実績に基づいて上方修正することとした。(令和6年度より)

4 施策目標に関する検証

- (1) **観光情報ページ閲覧者数**
 ≪効果があった事業及びその内容≫ 何が良かったのか
 ・体験・滞在型観光PR事業
 観光体験リーフレットを市内外の観光施設へ設置し、更にイベント開催時等に配布したことにより、観光情報ページの閲覧者数が増加したこと。
 ≪検討の余地がある事業及びその内容≫ 何が悪かったのか
 ・体験・滞在型観光整備事業
 観光情報ページの体験コンテンツの整備が遅れ、年度内にリニューアル版の公開に至らなかったこと。
- (2) **体験・滞在型観光への参加者数**
 ≪効果があった事業及びその内容≫ 何が良かったのか
 ・体験・滞在型観光情報発信強化事業
 本会ホームページにて市内の観光イベント情報(関係機関・団体主催含む)を一括発信したことにより、観光客の誘客につながったこと。
 ≪検討の余地がある事業及びその内容≫ 何が悪かったのか
 ・体験・滞在型観光受入れ事業者支援事業
 体験コンテンツ情報を整備中のため、助成対象企業を広げることができず、助成件数が少なかったこと。

5 次年度への改善点

- (1) **体験・滞在型観光整備事業**
 観光情報ページのリニューアル版を整備し、早期に運用できるように進める。
- (2) **体験・滞在型観光受入れ事業者支援事業**
 助成金制度を見直し、より効果的な支援となるように検証・実施する。

独自戦略2 持続的に稼げる企業創出による潟上産業活性化

施策9 稼げる企業及び雇用創出支援の強化

1 令和6年度 施策の方向性

企業が持続的に発展するためには企業イメージ向上により企業価値を高め、人材育成により企業の競争力を強化することが重要となる。そのため、持続可能な経営戦略及び人材の価値を最大限に引き出す人材戦略を支援し、稼げる企業及び雇用創出支援を強化する。

2 事業概要 ※ () は活動目標値

- (1) SDGs 促進事業

持続可能な地域社会の実現に向けた取組によって、企業価値向上を目指す事業者に対し、秋田県SDGs パートナー登録制度の活用による取組の見える化を支援した。

 - 活動内容
 - ・秋田県担当者と連携した申請支援
 - ・ホームページによる「秋田県SDGs パートナー登録制度」の周知
 - 達成状況
 - ・県SDGs パートナー登録制度登録事業者数：5件（5件）
 - ・県SDGs パートナー登録事業所の紹介（本会会員）：3件（3件）
- (2) 職場環境整備促進事業

多様で柔軟な働き方の実現による従業員の職場定着や雇用の促進に向けて、就業規則の見直しなど働きやすい職場環境の整備を支援した。

 - 活動内容
 - ・チラシ及びホームページによる「一般事業主行動計画」の周知
 - ・専門家派遣を通じた一般事業主行動計画のフォローアップ、高度化支援
 - 達成状況
 - ・職場環境整備（一般事業主行動計画策定等）に係る専門家派遣件数：3社（3社）
- (3) 人材育成強化事業

若者や女性等が活躍しキャリアアップすることで、企業競争力の原動力へと育成するためにセミナーを開催して支援した。

 - 活動内容
 - ・コミュニケーション能力及び相互の関係を構築するスキル習得のための講師選定
 - ・チラシ及びホームページによる開催周知
 - 達成状況
 - ・人材育成セミナーの開催：2回（2回）
- (4) 人材マッチング促進事業

企業ガイドブック及び動画の作成や関係機関と連携した新規学卒者及び幅広い人材を対象とした就職フェア（企業説明会）を開催し、新たな人材とのマッチングを支援した。

 - 活動内容
 - ・潟上市求人企業ガイドブック2024の作成（1,000部）
 - ・開催チラシ及びガイドブックを、高校・専門学校、大学等関係各所へ配布。あわせてハローワーク秋田・ハローワーク男鹿にて一般求職者へ配布
 - ・参加企業向けセミナーの開催「テーマ：高卒採用 活動のポイント」
 - ・終了後アンケートの実施（参加企業、参加求職者、高校教諭）
 - 達成状況
 - ・就職フェアの開催：1回（1回）
 - ・就職フェア・ガイドブックへの参画企業の新規雇用者数：29人（5人）

▽かたがみ企業就職フェア2024

 - 参加企業：16社
 - 参加求職者：一般7名
 - 採用状況：2名／2社（就職説明会参加者）
 - 共催：潟上市、ハローワーク秋田・男鹿
 - 後援：秋田地域振興局、秋田県教育委員会

施策目標	実績値（目標値）				
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
(1) 秋田県SDGs パートナー登録制度登録事業者数 登録を支援した事業者数	4件 (5件)	5件 (5件)	5件 (5件)	(5件)	(5件)
達成状況	未達成	達成	達成		
(2) 企業説明会・PRパンフへの参画企業の新規雇用者数 商工会が主催する人材マッチング事業への参画企業を対象とする。	1人 (5人)	57人 (5人)	29名 (5人)	(5人)	(5人)
達成状況	未達成	達成	達成		

4 施策目標に関する検証

- (1) 県SDGs パートナー登録制度への登録事業者数

《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか

 - ・SDGs 促進事業
 - 制度周知を図るため、巡回による個社訪問により直接的な制度周知に取組んだこと。これにより目標達成に至ったこと。

《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか

 - ・SDGs 促進事業
 - SDGs パートナー登録制度の登録事業者に対し、実際の取組に対する実行支援まで至らなかったこと。
- (2) 企業説明会・PRパンフへの参画企業の新規雇用者数

《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか

 - ・人材マッチング促進事業
 - 求職者に対し、企業ガイドブックやホームページにより、求人企業情報を提供するとともに、企業PRにもつなげたこと。

《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか

 - ・人材マッチング促進事業
 - 県内高等学校及び各教育機関への事業周知が遅くなったため、来場した求職者が少なかったこと。

5 次年度への改善点

- (1) SDGs 促進事業

継続的な制度周知により、登録を促進するほか、実際の取組や1年後の実績報告までフォローアップ支援を行う。
- (2) 人材マッチング促進事業

事業に早期着手し、求職者に対して早い段階でチラシ等を周知することによって、参加者増加を目指す。

独自戦略2	持続的に稼げる企業創出による潟上産業活性化
-------	-----------------------

施策10	創業支援強化による稼げる企業創出の推進
------	---------------------

1 令和6年度 施策の方向性	
地域に根付いた新たなビジネスが生まれることは、地域を牽引する人材・企業及び雇用を生み出すことにつながるため、潟上産業の活性化に効果的である。そのため、当地域での創業者を誘致するために、独自の受入れ事業の展開や市行政と連携した創業者向け支援メニューの拡充等によって、新たに稼げる企業の創出を目指す。	

2 事業概要 ※ () は活動目標値

(1) 創業支援情報発信強化事業	
創業者をターゲットにして、商工会の支援メニューや創業体験談、行政の支援施策などを集約したサイトにより情報発信を行った。	
■活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 創業関連支援施策の情報発信 ▽潟上市創業支援補助金に関する情報発信：2回 ▽「会員の声」での創業支援者の体験談発信：2回 ▽「かたがみ創業ゼミ2024」開催情報発信：1回 ホームページ「会員の声」掲載内容の取材
■達成状況	<ul style="list-style-type: none"> 創業サイト閲覧者による問合せ、相談件数：21件（10件） ホームページによる創業支援情報の発信：5回（5回）
(2) 創業支援施策拡充事業	
移住者や副業など、時代に即したあらゆるタイプの創業者が当地域に集うように、市行政の現行施策を検証し、緩和や拡充を含め新たな施策を提案した。	
■活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 創業支援における課題及び改善要望等の情報を抽出、意見交換
■達成状況	<ul style="list-style-type: none"> 市行政への創業支援施策の提案：4施策（3施策）
(3) 創業支援強化事業	
新たなビジネス創出による潟上産業活性化のため、創業者をターゲットとした事業を企画・実施し、当地域での創業を促進した。	
■活動内容	<ul style="list-style-type: none"> かたがみ創業ゼミ講師とのカリキュラム検討 かたがみ創業ゼミカリキュラム内「先輩経営者との座談会」の検討・実施 マスコミ（秋田魁新報、マリマリ）、行政広報等を通じた開催情報発信 終了後アンケートの実施 創業希望者への県起業支援補助金、潟上市創業支援補助金の申請・実行支援
■達成状況	<ul style="list-style-type: none"> かたがみ創業ゼミの開催：1回（1回） ▽参加者：12名（内、ゼミ後の創業者：1/8名、創業支援者：3名） 3名の先輩経営者との座談会の開催：1回（1回） 県や市等の創業補助金の申請支援件数：9件（8件） 創業者数：11件（7件） (内訳) 法人企業：1社（サービス業） 個人事業者：10社（小売業、建設業、飲食業、サービス業等）

3 施策目標及び達成状況					
施策目標	実績値（目標値）				
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
(1) 創業サイト閲覧者による問合せ、相談件数	12件 (10件)	25件 (10件)	21件 (10件)	(15件)	(15件)
創業サイトをきっかけにした相談件数					
達成状況	達成	達成	達成		
(2) 創業者数	9件 (5件)	8件 (5件)	11件 (7件)	(7件)	(9件)
創業計画策定や支援施策活用等により創業した件数					
達成状況	達成	達成	達成		

4 施策目標に関する検証

(1) 創業サイト閲覧者による問合せ、相談件数	
《効果があった事業及びその内容》	何が良かったのか
<ul style="list-style-type: none"> 創業支援情報発信強化事業 ホームページ内、創業支援ページの支援メニューを見やすく掲示したことで、相談の問い合わせ件数が増えたこと。 	
《検討の余地がある事業及びその内容》	何が悪かったのか
<ul style="list-style-type: none"> 創業支援情報発信強化事業 多業種の創業体験談や補助金活用事例を掲載できなかったこと。 	
(2) 創業者数	
《効果があった事業及びその内容》	何が良かったのか
<ul style="list-style-type: none"> 創業支援強化事業 「かたがみ創業ゼミ」修了後も、創業予定者間で横のつながりができ、継続して情報交換する等お互いに刺激し合っていること。 	
《検討の余地がある事業及びその内容》	何が悪かったのか
<ul style="list-style-type: none"> 創業支援強化事業 「かたがみ創業ゼミ」に過年度参加者した方へのアプローチが足りず、継続した支援ができなかったこと。 	

5 次年度への改善点

(1) 創業支援情報発信強化事業	
多業種の創業事例掲載を行い、創業への意欲促進及び問い合わせしやすいページ整備を行う。	
(2) 創業支援情報発信強化事業	
「かたがみ創業ゼミ」参加者へ創業支援情報の提供等継続的アプローチを行い、潟上市内での創業につなげるようフォローアップ支援を行う。	